

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|-----------|--|--------------|----|
| 27-227 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 15 三省堂 | コⅡ 333 | VISTA English CommunicationⅡ New Edition | | |

1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばに対する興味・関心を高め、考える力・思考力・表現力を伸ばし、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解の基礎を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環として人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を基本方針とする。

1. ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
2. ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
3. 言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
4. 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、「言語の使用場面」と「言語の働き」に留意しながら、創造的な言語活動を目指す。
5. 「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習で習得した能力を更に伸長させながら、4技能における言語活動の総合的かつ統合的な関連を図る。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|----------|--|---|
| 題材 | ① 取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号) | LESSON, Reading Skill, USE ENGLISH |
| | ② 読み物においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号) | ENJOY READING |
| | ③ キャリア教育(第2号)、正義と責任(第3号)、科学教育・環境教育(第4号)、生命の尊重(第4号)、平和教育(第5号)、および国際理解教育に結びつくものとして、わが国の伝統文化や他国の文化を扱ったもの(第5号)を配置した。 | 自分の将来について考える(第2号) LESSON 3, 4, 6 正義と責任(第3号) LESSON 10 科学・環境に関心を持つ(第4号) LESSON 4, 7 生命の尊重(第4号) LESSON 7, 9, 10 平和を考える(第5号) LESSON 4, 10 日本の伝統文化(第5号) LESSON 8 Reading Skill 4 ENJOY READING 他国の文化(第5号) LESSON 1, 2, 3, 5, 10 Reading Skill 1 |
| 言語活動 | ① 各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号) | THINK 1, PRACTICE, USE ENGLISH |
| | ② ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるよう配慮した。(第3号) | ENJOY READING, ENJOY COMMUNICATION, USE ENGLISH, PRACTICE |
| 登場人物 | 主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号) | LESSON, USE ENGLISH |
| 構成 | 学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号) | 目次, LESSON, USE ENGLISH, Reading Skill, Look and Learn, Useful Sentences など |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する読み物を配置した。
5. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|-----------|--|--------------|----|
| 27-227 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 15 三省堂 | コⅡ 333 | VISTA English CommunicationⅡ New Edition | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」、および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列と各領域などの系統・内容に関して、以下のことに特に意を用いた。

(1) 基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②「コミュニケーション英語Ⅰ」の内容を踏まえて、「コミュニケーション英語Ⅱ」の接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③4技能のバランスを重視し、総合的・統一的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように構成、内容を工夫する。
- ④学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、およびそれらの知識や技能を実生活の中で活用できる力を、繰り返し、段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人とかかわる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、課末の設問や活動、課間の活動、巻末の付録などを充実させた。

(2) 本書の特色と編修上の留意点

A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

B. 題材内容

1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。

2) 題材は、日常生活・学校生活、地球環境、日本文化、比較文化、平和、自然科学、芸術、社会貢献、ことば、歴史、人間としての生き方など多様な内容にした。文章は、スピーチ、インタビュー、プレゼンテーション、対話文、説明文、Eメール、物語など変化をもたせた。

3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、南米、アフリカの国及び人物を配置し

た。

C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は表現活動に活用することを基本として、基本的な文法事項を扱った。
- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) 「基本文」は **STUDY IT!** で示し、既習語による文として提示した。
- 5) 「単語」は、中学校既習語を 832 語、**VISTA I** 既習語を 394 語とし、それ以外の語を新語として傍注で示した。また、「連語・熟語」「表現」については、脚注上段で示した。
- 6) 「音声」については、標準的な米音を基本にした。

D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、**USE ENGLISH!** などで「言語の使用場面」を示すとともに、4 技能の総合的・統一的な関連が図れるように、スピーチ、プレゼンテーション、インタビュー、書籍記事、ポスター、対話、E メール、レポート、カード、インターネット、DVD の制作などさまざまな形式を工夫した。

また、「言語の働き」に留意し、特に会話で多用される慣用的な表現についても、「コミュニケーション英語 I」における学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

E. 本書の構成と内容

1) 各課の本文は、4 技能の習得を目指す総合的な教材とした。各課のセクション数は原則として 3 で構成されている。

2) 各課の基本文は **STUDY IT!** で示し、本文では〈本のマーク〉として示した。

3) 各ページの傍注には新出語、脚注には、上段に熟語・連語、表現、中段に本文の内容に関する **Q&A!**、下段には音声指導のための、音の連結、区切り、強勢、リズム、イントネーションを扱う **SAY IT!** を配置した。さらにその下に、本文中に出てくる語の、語源や背景知識について触れる **WORD WATCH** を配置した。

本文使用語のうち、中学校既習とみなした語は巻末「**WORD LIST**」の中で太字体（ボールド体）で示した。

4) 各課の練習は、「**THINK!**」「**STUDY IT!**」「**PRACTICE!**」「**USE ENGLISH!**」で構成し、4 技能の言語活動が、総合的・統一的に行われるように配慮した。

「**THINK!**」は、本課の中心的なテーマをつかむための読解問題と要約。「**STUDY IT!**」では、本課で扱う基本表現を提示し、それに関連する文型・文法項目を提示した。「**PRACTICE!**」は、新出の文法項目や連語・熟語、表現などの練習問題。「**USE ENGLISH!**」は、本課の題材内容に関連して、発信型の創造的な言語活動に資するものとした。

5) 「**ENJOY COMMUNICATION!** (会話を楽しもう!）」では、日常会話の中で使われる特有な表現の基本的なものを扱った。

6) 「**Reading Skill** (読むコツ)」では、読み方の技術としての基本を系統的に示した。

7) 「**Look and Learn** (文法のまとめ)」を設け、文法事項の整理と確認に資した。

8) 「**Take a Break!** (ちょっと一息!）」では、漫画、クイズ、歌を扱った。

9) 「**STUDY IT!**」の知識をより定着・活用させるために、「**Useful Sentences** (活用例文集)」を掲載し、学習上の配慮とした。

10) 巻末付録には、「動詞の不規則変化」「音声スクリプト」「**Look and Learn DRILL** 解答」を配置し、「**WORD LIST**」では、中学校既習とみなした語 (832 語) と「コミュニケーション英語 I」の既出語 (394 語) と「コミュニケーション英語 II」の新出語 (653 語) を掲載し、その初出ページを示した。

2. 対照表

| | 構成・内容 (■=LESSON など ●=サブ ○=付録) | 学習指導要領の内容 |
|-----------|---|--|
| 言語活動 | <p>■LESSON さまざまな題材に関する英文を聞く。</p> <p>■WARM UP! 題材内容に関する文の聞き取りをする。</p> <p>■Q&A! 本文内容を聞いて、それに答える。</p> <p>■PRACTICE! 1 簡単な文脈の中でターゲットとなる文法事項を含む文の聞き取りをする。</p> <p>■USE ENGLISH! 紹介や報告、対話や討論を通して、情報などを理解する。</p> | 第2款 第3 2(1)ア |
| | <p>■LESSON ターゲットとなる文法事項を含む英文を、音読または暗唱する。</p> <p>■THINK! 2 本文内容の概要をとらえる英文を読む。本文を音読し、暗唱する。</p> <p>●Reading Skill 読む活動の補充・深化のため、読むためのコツを学ぶ。</p> <p>■ENJOY READING! 聞き手に伝わる音読を練習したり、暗唱をする。</p> | 第2款 第3 2(1)イ |
| | <p>■LESSON 題材に関連した内容について話す。</p> <p>■WARM UP! 課への導入となる質問について意見の交換をする。</p> <p>■THINK! 1 本文の流れに沿って読解を深め、話し合うなどして考えをまとめる。</p> <p>■USE ENGLISH! 素材をもとに、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> | 第2款 第3 2(1)ウ |
| | <p>■LESSON 題材に関連した内容について書く。</p> <p>■THINK! 2 本文の概要について書く。</p> <p>■USE ENGLISH! 素材をもとに、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p> | 第2款 第3 2(1)エ |
| 言語活動の配慮事項 | <p>■LESSON, ENJOY READING! ターゲットとなる文法事項を含む英文を聞き、内容の展開が伝わるように読む練習をする。</p> <p>■THINK! 2 本文内容の展開が伝わるように読む練習をする。</p> <p>■SAY IT! 本文を素材に、リズムやイントネーション、母音子音などを練習する。</p> <p>■USE ENGLISH! 情報に基づいて考えをまとめ、自分のことなどについて話す。</p> | 第2款 第3 2(2)ア |
| | <p>■LESSON 論点や根拠を明確にしなが、文章の構成に注意して読む。</p> <p>■USE ENGLISH! 図表との関連などを考えながら読んだり書いたりする。</p> <p>●Reading Skill 4 読む活動の補充・深化のため、文章の構成に注意しながら読む練習をする。</p> | 第2款 第3 2(2)イ |
| | <p>■WARM UP! 背景となる知識を活用して、英文を聞くための準備をする。</p> <p>●Reading Skill 3 読む活動の補充・深化のため、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読む練習をする。</p> | 第2款 第3 2(2)ウ |
| | <p>■USE ENGLISH! 説明を工夫して相手に効果的に伝わるように書く。</p> <p>■ENJOY READING! 描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話す。</p> | 第2款 第3 2(2)エ |
| 言語活動の取扱い | <p>■LESSON 学習指導要領で例示された場面について、各単元で取り扱うよう適切に配置した。(→「カリキュラム表」参照)</p> <p>*各 LESSON の言語活動では、当該の言語材料が効果的に使われるように配慮し、それらの定着を図るとともに、使用場面を明確に提示し、場面に応じた表現の練習ができるようにした。</p> <p>*ENJOY COMMUNICATION! では、旅行、交通手段、病院などの場面や働きを扱った。</p> <p>*さまざまな学習形態の言語活動を配置し、ペア・ワークやグループ・ワークなどの多彩な授業展開ができるように配慮した。</p> <p>■WARM UP!, Q&A!, ●ENJOY COMMUNICATION! 英語で行われる授業の進行を促すように配慮した。</p> | 第2款 第3 3 第3款 1 第3款 3イ 第4款 2(4) 第3款 4 |
| 音声 | <p>■New Words 欄 発音表記とともに発音練習をする。</p> <p>■SAY IT! 本文中の語に関して、発音表記とともに音読のヒントを提示した。</p> | 第4款 2(2) |
| 単語・表現 | <p>■New Words 欄 本文中の新出の語を提示した。重要度の高いものについては太字で示した。</p> <p>■脚注欄 本文中の連語、慣用表現、短縮形を提示した。</p> <p>■WORD WATCH 本文中に出てくる語の、語源や背景知識などの解説を提示した。</p> <p>◎WORD LIST 本文中に出てくる語について、アルファベット順に示し、品詞や意味などを提示した。</p> <p>■LESSON 他 表現は現代の標準的な英語によるものとした。</p> | 第3款 3ア 第3款 2ア(ア) 第3款 2ア(イ) |
| 文法 | <p>■LESSON 本文 ひとつ前の LESSON で学んだ文法事項の文にマークを付けて、繰り返して定着を図るよう配慮した。</p> | 第3款 2イ・ウ 第3款 3イ・ウ |

| | | |
|------|---|----------|
| | <p>■STUDY IT! 各 LESSON 配当の文法事項を、解説とイラストによって確認する。</p> <p>■PRACTICE! 各 LESSON 配当の文法事項を、コミュニケーション活動につながる練習問題を行うことによって身につける。</p> <p>●Look and Learn 1～5 既習の関連のある文法事項をまとめ、英文と訳、DRILL によってふり返る。</p> <p>◎動詞の不規則変化 不規則動詞のうち基本的な単語の変化形を掲載した。</p> <p>*各 LESSON に配当された言語材料は本文にマークが付され、段階的に配列された言語活動 (DRILL, PRACTICE!) の中で実際に使っていく。</p> | |
| 題材 | <p>*LESSON, ENJOY READING!, ENJOY COMMUNICATION!, Reading Skill, Take a Break! などの本文や言語活動においては、生徒の発達段階および興味・関心に即した題材を配置した。</p> <p>*題材を選定するにあたっては、「ことばの教育」「国際理解教育」「人間教育」の領域をバランスよく配置した。</p> <p>*形式は、スピーチ、プレゼンテーション、インタビュー、書籍記事、ポスター、対話、Eメール、レポート、カード、インターネット、DVD の制作など、変化をもたせた。</p> <p>*場面は主として日本とした。</p> <p>*登場人物の出身国は、日本、英語圏、その他の国をバランスよく配置した。</p> | 第4款 2(1) |
| 中高接続 | <p>■LESSON 中学校や「コミュニケーション英語Ⅰ」で学んだ文法事項を踏まえて、4技能における言語活動をさらに進展させる。</p> <p>◎動詞の不規則変化 中学校で学んだ、基礎的な不規則動詞の変化形をふり返り、高等学校の英語学習内容への橋渡しをする。</p> | 第2款 第3 3 |
| 自律学習 | <p>■Useful Sentences 各 LESSON の STUDY IT! で学んだ文法事項をより定着・活用させるために、補充の例文を提示し、自律的な学習を促す。</p> <p>■日付欄、New Words 欄チェックボックス 学習記録を目的として、日付を記入したり、覚えた単語のチェックボックスにマークをつけたりして、自律的な学習を促す。</p> <p>◎目次 1年間の学習内容(題材、文法事項)を一目でとらえられるように提示し、計画的な学習を促す。</p> <p>◎WORD LIST 本文中に出てくる新出語、熟語についてはアルファベット順に示し、辞書の活用も含めて語彙指導の一助となるように提示した。</p> | 第4款 2(3) |

*配当時間については、別記「カリキュラム表」を参照のこと。

(別記)カリキュラム表

L1=LESSON 1, UE=USE ENGLISH!, ER=ENJOY READING!

LL=Look and Learn, TB=Take a Break!, EC=ENJOY COMMUNICATION!, RS=Reading Skill, US=Useful Sentences

新出単語数 (653), 年間配当時間 (62)

| セクション | 主な言語材料 | 題材/場面 | 働き | L | S | R | W | 配当時間 | |
|-------|-----------------------------------|----------------------|---------------|--------------------------|---|---|---|------|---|
| L1 | Birthdays, Here and There | 疑問詞や if で始まる節 | 比較文化/学校 | あいさつする, 質問する, 説明する, 感謝する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 図表を説明しよう | 図表 | 質問する, 説明する | | ○ | ○ | ○ | | |
| TB1 | ののちゃん | | | | | ○ | | 1 | |
| L2 | The Emerald Isle | 比較 | 国・文化/学校 | あいさつする, 質問する, 説明する, 感謝する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 訂正しよう | 表・メール | 質問する, 訂正する | | ○ | ○ | ○ | | |
| EC1 | What's the Purpose of Your Visit? | 入国審査/空港 | 質問する | ○ | ○ | | | 1 | |
| LL1 | Look and Learn 1 | 名詞の働きをする節/さまざまな比較の表現 | | | | | | 1 | |
| RS1 | 代名詞が指す内容確かめよう | | | | | ○ | | 1 | |
| L3 | The Sagrada Familia | 名詞を修飾する分詞 | 世界遺産・建築・人物/学校 | 質問する, 説明する, 結論をまとめる | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 感謝の気持ちを伝えよう | カード/学校 | 感謝する, 褒める | | | ○ | ○ | | |
| TB2 | 鳴き声クイズ | | | | | ○ | ○ | 1 | |
| L4 | Nobel Prize Episodes | 知覚動詞/tell ~ to do | ノーベル賞/学校 | 質問する, 説明する, 理由を述べる, 助言する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |

| | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------------|-------------------------------|------------|------------------|---|---|---|---|---|
| UE | アドバイスしよう | | 自由研究／学校 | 質問する, 助言する | | | ○ | ○ | |
| EC2 | How Do We Get There? | | 交通／日常生活 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | | | 1 |
| LL2 | Look and Learn 2 | 分詞のいろいろな用法／tell ～ to do | | | | | | | 1 |
| RS2 | 必要な情報を見つけよう(スキミング) | | | | | | ○ | | 1 |
| L5 | Flowers in the Tomb | 使役動詞／関係代名詞 what | 歴史・人物／学校 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 賛成／反対しよう | | 学校・討論 | 賛成する, 反対する | | | ○ | ○ | |
| TB3 | イディオムクイズ | | | | | | ○ | | 1 |
| L6 | Becoming the Best | how to do／It seems that ～. | 人物・スポーツ／学校 | 質問する, 説明する, 推論する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 言いかえよう | | ことば・スポーツ | 言い換える | | | ○ | ○ | |
| EC3 | Where Can I Get a Ticket? | | 交通／日常生活 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | | | 1 |
| LL3 | Look and Learn 3 | 使役動詞／関係代名詞 what ／how to do | | | | | | | 1 |
| RS3 | 未知語の意味を推測しよう | | | | | | ○ | | 1 |
| L7 | The Galapagos Islands | 現在完了進行形／形式目的語 it | 世界遺産・環境／学校 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 結論をまとめよう | | 旅行／学校 | 結論をまとめる | | | ○ | ○ | |
| TB4 | 歌ってみよう | | | | ○ | ○ | | | 1 |
| L8 | Shodo, Old and New | 部分否定／can be done | 日本の伝統文化／雑誌 | 説明する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 話題に興味を示そう | | 日本文化／学校 | 相づちを打つ | | | ○ | ○ | |
| EC4 | What's the Matter? | | 病院 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | | | 1 |
| LL4 | Look and Learn 4 | it のいろいろな用法／さまざまな否定／現在完了形のまとめ | | | | | | | 1 |
| RS4 | パラグラフの構成を把握しよう | | | | | | ○ | | 1 |
| L9 | Water World | 関係代名詞の非制限用法／have been done | 歴史・自然科学／学校 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 申し出よう | | ポスター・メール | 申し出る | | | ○ | ○ | |
| TB5 | 新年カードクイズ | | | | | | ○ | ○ | 1 |
| L10 | A Long Friendship | 過去完了形／強調構文 | 国・歴史／学校 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| UE | 依頼しよう | | 手紙 | 質問する, 依頼する | | | ○ | ○ | |
| LL5 | Look and Learn 5 | 関係代名詞／いろいろな受け身／過去完了形 | | | | | | | 1 |
| ER | I'm Afraid of <i>Manju!</i> | | 物語／落語 | 質問する, 説明する | ○ | ○ | ○ | | 4 |
| US | 活用例文集 | 各課の STUDY IT! の項目 | | | | | ○ | ○ | |